

仙説阿弥陀經

漢文と現代語訳

萬まん行ぎやう之し中ちゆう爲い急きゆう要えう

迅しん速そく無む過か淨じやう土ど門もん

不ふ但た本ほん師し金きん口く說せ

十じ方ぽう諸しよ佛ぶつ共ぐ傳でん證しやう

●●
仏説阿弥陀經

仏説阿弥陀經

姚秦三藏法師鳩摩羅什奉詔訳
如是我聞一時仏在舍衛国祇樹給孤独園
与大比丘衆千二百五十人俱皆是阿羅
漢衆所知識長老舍利弗摩訶目犍連摩訶
迦葉摩訶迦旃延摩訶俱絺羅離婆多周利
槃陀伽難陀阿難陀羅睺羅憍梵波提賓頭
盧頗羅墮迦留陀夷摩訶劫賓那薄拘羅阿
菟樓駄如是等諸大弟子并諸菩薩摩訶薩
文殊師利法王子阿逸多菩薩乾陀訶提菩
薩常精進菩薩与如是等諸大菩薩及釈提

ある時、お釈迦さまはインドの舍衛国にある祇園精舎という、ほとけさまの教えを広めてほしいと願った人が用意した場所におられました。そこにはすぐれた智慧をもつ千二百人の弟子が集まっていました
弟子たちの中でも長老の舍利弗は、智慧が最もすぐれています。

桓因等無量諸天大衆俱

その時、お釈迦さまは舍利弗に向かつて、このよ
うな物語を話しはじめました。

舍利弗よ。ここから西の方の、十万億の仏様の国
をこえた、はるかかなたに、一つの世界があります。
その世界の名は、極楽浄土と言います。その国にお
られるほとけさまは、阿弥陀と名のられています。
阿弥陀さまは、今まさに、仏様の教えをお話しして
います。

舍利弗よ。その国の人びとは、少しも苦しむこと
がなく、いろいろな喜びを身に受けています。だか
ら、その国は極楽と名づけられるのです。

また舍利弗よ。極楽の世界を見わたすと、美しい

爾時仏告長老舍利弗從是西方過
十万億仏土有世界名曰極樂其土
有仏号阿弥陀今現在說法舍利弗
彼土何故名為極樂其國衆生無有
衆苦但受諸樂故名極樂。

又舍利弗極樂國土七重欄楯七重

宝でできた手すり、宝をつなげた網や並木で七重にとり囲まれています。

そして、極楽の世界には七色の宝でできた池があります。その池は、八つのはたらきがそなわった水でいっぱいになっています。池の底には金の砂がしきつめられ、水は金色にかがやいています。池の周りには、金や銀、瑠璃や水晶でできた石段があり、段を上がると、そこには高くそびえる建物があります。それもまた、金や銀、瑠璃など、いろいろな宝で立派にかざられています。

池の中には、車輪のように大きな蓮の花がさいています。青い蓮の花は青くかがやき、黄色い蓮の花は黄色くかがやき、赤い蓮の花は赤くかがやき、白い蓮の花は白くかがやいています。蓮の花からすばらしい香りがただよって、それはそれはきよらかです。

舍利弗よ。極楽の世界は、このようにすばらしい環境で。美しくかざられているのです。

羅網七重行樹皆是四宝周市圍繞
是故彼国名曰極樂

又舍利弗極樂国土有七宝池八功德水充滿其中池底純以金沙布地四辺階道金銀瑠璃玻瓈合成上有楼阁亦以金銀瑠璃玻瓈磈磈赤珠碼碯而嚴飾之池中蓮華大如車輪青色青光黄色黄光赤色赤光白色白光微妙香潔舍利弗極樂国土成就如是功德莊嚴

又舍利弗彼仏国土常作天樂黃金為地昼夜六時而雨曼陀羅華其国

また舍利弗よ。極樂の世界は、いつも美しくこ
ちよい音楽が流れ、地面は金でできています。そこ
では、一日に六回、空から美しい蓮の花がふつてき
ます。この世界に生まれた人びとは、毎日すがすが
しい朝をむかえ、空からふる蓮の花をお皿に受け
て、十萬億ものほかのほとけさまの国に出かけ、そ
の花をおそなえます。朝食の前にはもとの国にも
どつて、朝食をいただき、美しい並木の間を行き来
するのです。

次に、舍利弗よ。極樂の世界には、いろんな鳥が
います。白鵠びやっこうという白く美しい水鳥や孔雀くじゃくや鸚鵡おうむ、
人の言葉を話す舍利しゃり、美しい声で鳴く人の顔をした
迦陵頻伽かりょうびんが、頭が二つある共命鳥ぐみょうちようという鳥たちです。
鳥たちはそれぞれ、一日六回、とても美しくやさし
く鳴いています。その鳴き声は、実はほとけさまの
教えなのです。ですからその声を聞くとみんな、ほ
とけさまのすがた、ほとけさまの教え、そしてとも
に教えを聞く大びとのが自然とここに思いう

衆生常以清旦各以衣祴盛衆妙華
供養他方十萬億仏即以食時還到
本國飯食經行舍利弗極樂國土。
成就如是。功德莊嚴。

復次舍利弗彼國常有種種奇妙雜
色之鳥白鵠孔雀鸚鵡舍利迦陵頻
伽共命之鳥是諸衆鳥晝夜六時出
和雅音其音演暢五根五力七菩提
分八聖道分如是等法其土衆生聞
是音已皆悉念仏念法念僧舍利弗
汝勿謂此鳥實是罪報所生所以者
何彼仏國土無三惡趣舍利弗其仏
國土尚無三惡道之名何況有實是
諸衆鳥皆是阿彌陀仏欲令法音宣

かぶのです。舍利弗よ。極樂の世界に鳥がいるといつても、わたしたちの住むこの世界の鳥と同じというわけではありません。極樂の世界では阿弥陀さまが鳥のすがたに変わって、嶋き声で教えを伝えているのです。

舍利弗よ。極樂の世界ではここちよい風がふいて、さまざまな宝でできている並木や宝をつなげた網がゆれると、言いあらわせないほどすばらしい音楽が流れます。それはまるで百千もの楽器が同時に音楽を演奏しているかのようです。その音を聞く人は、みんな自然に、ほとけさまのすがた、ほとけさまの教え、そして教えを聞く人びとのことを思うところが生まれます。

流変化所作舍利弗彼仏国土微風
吹動諸宝行樹及宝羅網出微妙音
譬如百千種樂同時俱作聞是音者
皆自然生念仏念法念僧之心舍利
弗其仏国土成就如是功德莊嚴

舍利弗よ。極樂の世界のほとけさまは、どうして阿弥陀というお名前なのだと思いますか。それは、阿弥陀さまの光明に限りがなく、すべての方角にある国々をすみずみまで照らし、さまたげるものは何

舍利弗於汝意云何彼仏何故号阿
弥陀舍利弗彼仏光明無量照十方
国無所障碍是故号为阿弥陀又舍
利弗彼仏寿命及其人民無量無辺

もないからです。また、寿命に限りがなく、救われる人びとに限りがないからです。だから阿弥陀というお名前なのです。

舍利弗よ。阿弥陀さまは、十劫も前という、はるかむかしから、ほとけさまになっておられます。そして、数えきれないほどたくさんの弟子といっしょに、極樂の世界におられるのです。

また舍利弗よ。極樂の世界に生まれることになった人は、ふたたびなやみ悲しむ世界にもどることはありません。そうなった人は、とてもたくさんいるのです。舍利弗よ。阿弥陀さまの極樂の世界に生まれたいと願いましょう。なぜなら、極樂の世界に生まれると、阿弥陀さまやその弟子たちといっしょに一つの場所で出会うことができるからです。

しかし、少しくらい善い行いを積み重ねただけでは、極樂の世界に生まれることはできません。極樂の世界に生まれる種は念仏です。一日でも二日も、あるいは七日でも、こころを散らさずひたすら

阿僧祇劫故名阿弥陀舍利弗阿弥陀
陀仏成仏已来於今十劫又舍利弗
彼仏有無量無辺声聞弟子皆阿羅
漢非是算数之所能知諸菩薩衆亦
復如是舍利弗彼仏国土成就如是
功德莊嚴

又舍利弗極樂国土衆生生者皆是
阿鞞跋致其中多有一生補処其数
甚多非是算数所能知之但可以無
量無辺阿僧祇劫説舍利弗衆生聞
者应当發願願生彼国所以者何得
与如是諸上善人俱会一处舍利弗
不可以少善根福德因縁得生彼国
舍利弗若有善男子善女人聞説阿
弥陀仏執持名号若一日若二日若
三日若四日若五日若六日若七日
一心不乱其人臨命終時阿弥陀仏
与諸聖衆現在其前是人終時心不

に阿弥陀さまの名、南無阿弥陀仏を称えると、生きて
いるうちは阿弥陀さまとその弟子たちにまもら
れ、いのちが終わるとすぐ、阿弥陀さまの極樂の世
界に生まれることができるのです。

舍利弗よ。これまで話してきたことは、わたしが
阿弥陀さまの功德をはつきりと知っているから伝え
たのです。わたしが今、想像をこえた阿弥陀さまの
功德をほめているように、ほかの多くのほとけさま
たちも、同じように阿弥陀さまのことをほめ讃えて
いるのです。

顛倒即得往生阿弥陀仏極樂国土
舍利弗我見是利故説此言若有衆
生聞是説者应当発願。生彼国土
舍利弗如我今者讚歎阿弥陀仏
不可思議功德東方亦有阿閼鞞仏
須弥相仏大須弥仏須弥光仏妙音
仏如是等恒河沙数諸仏各於其国
出広長舌相遍覆三千大千世界

舍利弗南方世界有日月燈仏名聞光仏大
焰肩仏須弥燈仏無量精進仏如是等恒河
沙数諸仏各於其国出広長舌相遍覆三千

南の世界には日月燈仏や名聞
光仏や大焰肩仏などのほとけさ
またちがおられます。

大千世界説誠実言汝等衆生当信是称讚
不可思議功德一切諸仏所護念經

舍利弗西方世界有無量壽仏無量相仏無
量幢仏大光仏大明仏宝相仏浄光仏如是

西の世界には無量壽仏や無量
相仏や無量幢仏などのほとけさ
またちがおられます。

等恒河沙数諸仏各於其国出広長舌相遍
覆三千大千世界説誠実言汝等衆生当信

是称讚不可思議功德一切諸仏所護念經

舍利弗北方世界有焰肩仏最勝音仏難沮

仏日生仏網明仏如是等恒河沙数諸仏各

北の世界には焰肩仏や最勝音
仏や難胆仏などのほとけさまた
ちがおられます。

於其国出広長舌相遍覆三千大千世界説
誠実言汝等衆生当信是称讚不可思議功

徳どく一切いっさい諸しよ仏ぶつ所しよ護ご念ねん經ぎやう

舎しゃ利り弗ほ下げ方ほう世せ界かい有う師し子し仏ぶつ名み聞もん仏ぶつ名み光こう仏ぶつ

達だつ摩ま仏ぶつ法ほう幢どう仏ぶつ持じ法ほう仏ぶつ如に是よう等と恒ごう河が沙しゃ数しゆ諸しよ

仏ぶつ各かく於お其こ国こく出しゅつ広こう長ちやう舌ぜつ相そう遍へん覆ぷ三さん千せん大だい千せん世せ

界かい説せつ誠じやう実じつ言ごん汝に等とう衆しゆ生じやう当とう信しん是ぜ称しやう讃さん不ふ可か思し

議ぎ功く徳どく一い切っ諸しよ仏ぶつ所しよ護ご念ねん經ぎやう

舎しゃ利り弗ほ上じやう方ほう世せ界かい有う梵ぼん音のん仏ぶつ宿しゆく王わう仏ぶつ香かう上じやう仏ぶつ

香かう光かう仏ぶつ大だい焰えん肩けん仏ぶつ雜ざつ色しき宝ほう華け嚴ごん身しん仏ぶつ娑しゃ羅ら樹じゆ

王わう仏ぶつ宝ほう華け徳どく仏ぶつ見けん一い切っ義ぎ仏ぶつ如に須しゆ弥み山せん仏ぶつ如に

是ぜ等と恒ごう河が沙しゃ数しゆ諸しよ仏ぶつ各かく於お其こ国こく出しゅつ広こう長ちやう舌ぜつ相そう

遍へん覆ぷ三さん千せん大だい千せん世せ界かい説せつ誠じやう実じつ言ごん汝に等とう衆しゆ生じやう当とう

下の方の世界には師子仏や名聞仏や名光仏などのほとけさまたちがおられます。

上の方の世界には梵音仏や香上仏などのだくさんのほとけさまたちがおられます。

ほとけさまたちは、それぞれの国で、あらゆる世界をすべてのおおうほどの大きな舌を出して、まごころをこめた声で、こうよびかけているのです。

信しん是ぜ称しょう讚さん不ふ可か思し議ぎ功く徳どく一い切っ諸しよ仏ぶつ所しよ護ご念ねん 經ぎよう

舍利弗よ。多くのほとけさまたちがほめ讃えるこの物語を聞く者はみんな、ほとけさまたちにまもられて、ふたたびなやみ悲しむ世界にもどることはありません。そしてかならず阿弥陀さまの国に生まれることができるのです。

舍利弗よ。あなたたちは、わたしの言葉と、たくさんさんのほとけさまたちの言葉を信じなさい。すでに信じて阿弥陀さまの極楽の世界に生まれたいと願っている人も、今願いはじめた人も、これから願う人も、だれもがみんな阿弥陀さまの極楽の世界に生まれる身となって、ふたたびなやみ悲しむことはない

「みなさん、この阿弥陀さまの功徳を伝える言葉を信じなさい。わたしたちほとけは、阿弥陀さまの功徳を明らかにするお経と、信じる人びとをまもりま

す」
舍利弗於汝意云何何故名為一切諸仏所護念經舍利弗若有善男子善女人聞是諸仏所説名及經名者是諸善男子善女人皆為一切諸仏共所護念皆得不退轉於阿耨多羅三藐三菩提是故舍利弗汝等皆當信受我語及諸仏所説舍利弗若有人已發願今發願當發願欲生阿彌陀仏国者是諸人等皆得不退轉於阿耨多羅三藐三菩提於彼国土若已生若今生若當生是故舍利弗諸善男子善女人若有信者應當發願生彼国土

のです。その阿弥陀さまの極樂の世界に、すでに生まれた人もいます。今生まれている人もいます。これから生まれる人もいます。

早く信じて、阿弥陀さまの極樂の世界に生まれた
いという決心をしましょう。

舍利弗よ。今わたしは、多くのほとけさまが阿弥陀さまの功德をほめ讃えているようすを伝えました。同じように、そのほとけさまたちも、わたしが阿弥陀さまの功德をほめ讃えた様子を、こう語られています。

「人びとがなやみ悲しむ、にこった世界にお釈迦さまは生まれてきて、さとりを開き、すべての人びとのために、信じることがむずかしい念仏の教えを伝えておられます」と。

舍利弗よ。わたしは、にこったこの世界に生まれてきて、さとりを開きました。そして、信じることがむずかしい念仏の教えを、すべての人びとが信じられるように、この物語をお話したのです。

お釈迦さまは、このようにして話を終えました。

舍利弗如我今者称讚諸仏不可思議功德彼諸仏等亦称說我不可思議功德而作是言釈迦牟尼仏能為甚難希有之事能於娑婆国土五濁惡世劫濁見濁煩惱濁衆生濁命濁中得阿耨多羅三藐三菩提為諸衆生說是一切世間難信之法舍利弗当知我於五濁惡世行此難事得阿耨多羅三藐三菩提為一切世間說此難信之法是為甚難仏說此經已舍利弗及諸比丘一切世間天人阿修羅等聞仏所說歡喜信受作礼而去

仏說阿弥陀經

舍利弗をはじめ、たくさんの人びとは、このお話を聞いて、よろこび信じ、お礼を言い、お釈迦さまの前から立ち去ったのでした。

仏ぶつ説せ阿あ弥み陀だ經きよう●

〇
 むー
 あーなー なー なー なー なー なー なー
 まー まー まー まー まー まー
 だー だー だー だー だー だー
 ぶー ぶー ぶー ぶー ぶー ぶー
 〇
 なー
 なー なー なー なー なー なー
 まー まー まー まー まー まー
 だー だー だー だー だー だー
 ぶー ぶー ぶー ぶー ぶー ぶー

重三

南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛
 〇
 なー なー なー
 むー むー むー
 あー あー あー
 みー みー みー
 だー だー だー

なー なー なー
 むー むー むー
 あー あー あー
 みー みー みー
 だー だー だー

五濁惡時惡世界
 彌陀の名號あたへてぞ
 恒沙の諸佛すゝめたる

〇
 諸佛の護念證誠は
 悲願成就のゆへなれば
 金剛心をえんひとは
 彌陀の大恩報ずべし

往^{おう}同^{どう}平^{びやう}願^{がん}
生^{じやう}發^{はつ}等^{どう}以^い
安^{あん}菩^ぼ施^せ此^し
樂^{らく}提^{だい}功^{こう}
國^{こく}心^{しん}切^{きつ}德^{とく}

発行 真宗大谷派（東本願寺）常入寺

〒930-0161

富山市東老田787

☎（076）436-0816